

平成 20 年 7 月 14 日

関係機関長および関係各位

京都大学防災研究所
所長 石原 和弘

教員の公募について

拝啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、当研究所は「災害に関する学理の研究及び防災に関する総合研究」を目的とした全国共同利用の研究所であります。平成 17 年 4 月には、中期目標・中期計画に沿って研究教育活動を確実かつ速やかに実行するために、分野横断的な連携をさらに強化する全所的な改組を行い、現在に至っております。このたび、下記の通り教員を公募することになりました。つきましては、ご多忙中の所、まことに恐縮でございますが、関係各位の皆様方にご連絡いただくとともに、適任者の応募についてよろしくお取り計らい下さいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 公募人員：教授 1 名
2. 所 属：水資源環境研究センター 社会・生態環境研究領域
3. 研究内容等：水資源の社会的・生態的リスクマネジメントの方法論、人間活動による地域・流域の変化が社会や生態環境に及ぼす影響分析などをシステム論的に研究する。さらに、これらの研究を通じて、防災という観点を踏まえて水資源環境に関わる先進的な連携・融合研究を目指すことのできる人材を期待する。
また、京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻の教育を担当する。
4. 任用時期：平成 21 年 4 月 1 日（予定）
5. 応募資格：博士の学位を有し、上記の研究内容に関連する領域において優れた知識、能力及び研究実績を有する者。
国籍は問わないが、日常的に日本語が使えることが望まれる。
6. 提出書類：次の (1) ～ (6) 各一式
 - (1) 履歴書
 - (2) 研究業績一覧
(審査付き論文およびその他に区分けした論文、著書等の一覧表)
 - (3) 主要論文別刷（コピー可） 5 編
 - (4) 研究業績の概要（A4 用紙 2 枚以内）
 - (5) 今後の研究計画及び抱負（A4 用紙 3 枚以内）
(応募者の考えとこれまでの実績を踏まえて、どのような貢献を行うかを示すこと)

(6) 推薦書、または、応募者について意見を伺える方(2名)の氏名と連絡先

7. 公募締切：平成20年10月15日(水)(必着)

8. 書類提出先：〒611-0011 宇治市五ヶ庄 京都大学宇治地区事務部

防災研究所担当事務室長 気付

水資源環境研究センター 教授選考委員会 宛

(封筒の表には「教員応募書類在中」と朱書し、郵送の場合は書留にすること)

9. 問い合わせ先：〒611-0011 宇治市五ヶ庄 京都大学宇治地区事務部

防災研究所担当事務室長 鈴木 良平 ryohhei@uji.kyoto-u.ac.jp

水資源環境研究センター 教授選考委員会 (封書またはEメールに限る)

10. その他：

応募書類に含まれる個人情報、選考および採用以外の目的には使用しません。

水資源環境研究センターの概要

1. 研究目的

本水資源環境研究センターは、昭和53年4月に水資源研究センターとして発足し、平成17年4月に防災研究所の改組を経て現在に至っている。当研究センターでは、流域・地域規模から地球規模までの水循環・物質循環を対象に、地球規模での気象・水文学的側面からの水循環・物質循環を科学的・定量的にモデル化し、地球温暖化の影響把握に取り組んでいる。リモートセンシング技術や整備された水文気象情報、大容量計算装置を利用して、気圏—水圏—地圏を連続体として取り扱うとともに、流域規模から地球規模までの水・物質循環系のモデル化を推進している。さらに、人間動態のニーズや地域・流域変化が社会や生態環境に及ぼす影響を踏まえて、水資源の社会的・生態的リスクマネジメントの提案を行っている。

現在は、3つの専任研究領域と当面する重要な研究課題を担当する客員研究領域より組織されている。研究活動の概要は水資源研究センター研究報告（昭和55年度より毎年発行、平成16年度からはホームページ <http://www.wrrc.dpri.kyoto-u.ac.jp/wrrc-rep/wrrc-rep.html> で公開）に記載されている。

地球水動態研究領域

人間の社会・経済活動と地球規模水動態との相互作用を分析し、水資源問題の解決に資するために、経済・社会活動を組み込んだ全球水資源ダイナミクスモデルの開発、水資源の時・空間分布状況推定のためのグローバル水文量のダウンスケーリング手法の開発に取り組んでいる。また、地球規模の水動態の結果として発生する水災害を防止・軽減する具体的施策を、人間行動を含めて分析するため、水災害軽減のための地域対応のモデル化と計画手法について研究を進めている。

地域水環境システム研究領域

大気と地表水、地下水を含む3次元水循環モデルをベースに、地域開発、水利用、汚染物質排出の影響を考慮しうる水量、水質、生態系から見た複合的環境動態モデルを構築し、水環境・水文化と調和の取れた総合流域管理の概念を提案している。気候モデルのバイアスの検出や補正、都市気象の将来予測、温暖化影響評価のための統計的ダウンスケール、洪水や渇水への影響評価など、地球温暖化問題に関連した様々な研究が進行している。

社会・生態環境研究領域

自然的（ジオ・エコ）・社会的（ソシオ）環境変化が、各種災害リスクにどのような影響を与えるかを分析し、環境保全・創生型の都市・地域づくりのための研究をしている。このため、「社会の変化」「環境の変化」「災害の発生リスク」「社会計画」を一連の循環過程と認識したシステム論的展開を試み、社会・生態システムの生活者参加型環境マネジメント、震災リスク軽減のための大都市域水循環マネジメント、社会・水資源リスクのコンフリクトマネジメント、マネジメントに対する環境のインパクトレスポンスの評価、などに取り組んでいる。

水資源分布評価・解析研究領域（客員）

水・熱・物質循環系の動態解析や人間・社会と自然との共生を考慮した水資源システムの評価・計画・管理推進に際しての知識供給や技術支援のため、また、社会的要請の大きな時事的課題に対処するために、国内より課題に適した研究者が招へいされる。

2. 現在の教員構成

平成20年7月14日現在の教員構成は以下のとおりである。

研究領域	地球水動態	地域水環境システム	社会・生態環境
教授	堀 智晴	小尻利治	萩原良巳 [*])
准教授		田中賢治	竹門康弘
助教	野原大督	浜口俊雄	
客員	吉川勝秀（教授）、谷本圭志（准教授）		

注：^{*})は平成21年3月31日退職予定で、その後任ポストが今回の公募対象である。

なお、平成17年4月に改組によって、水資源環境研究センターは、気象・水象災害研究部門、流域災害研究センターと共に、大気・水研究グループを構成している。詳細は、京都大学防災研究所の下記のホームページをご参照されたい。

<http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp>

以上

Full Professor-WRRC/ Socio and Eco Environment Risk Management

The Water Resources Research Center was established in 1978 aiming to understand the natural and social phenomena associated with water resources issues. The Center investigates the complete water resources management system, including conservation and development of water resources as integrated elements of geosystems, social systems and ecosystems. Physically-based water cycles and related substances are scientifically and quantitatively modeled from regional to global scales from the viewpoint of hydrometeorology, and systematic approaches for environmental assessment of water resources are proposed to link atmospheric conditions with surface, subsurface and ground water zones. Moreover, countermeasures for the water environment at the river basin scale are assessed considering the influences of regional development, water use and pollutant release. In addition, social and ecological risk management of water resources is proposed based on the needs of human activities and impacts of regional development and climate change on the socio- and eco-environments.

The Socio and Eco Environment Risk Management Research Field in Water Resources Research Center invites applications for a permanent position at the Full Professor level. The successful candidate is expected to have a background and expertise in hydrology or water resources engineering. The research programs should include development of social and ecological risk management system for water resources, and impact analyses of regional and catchment change caused by human activities on social and ecological environment. Through the research on these topics, he/she is requested to lead the research on integration of disaster mitigation and water resources environment issues.

There are also responsibilities for teaching graduate courses and supervising the research of graduate students. The successful applicant is expected to be proficient in Japanese. He/she will be expected to start on April 1, 2009 or shortly thereafter.

Applicants should prepare the following materials: i) curriculum vitae, ii) list of publications (divided into peer reviewed journal papers and other publications), iii) copies of 5 significant relevant papers, iv) a brief review of research and related contributions (up to two A4 pages), v) a statement of research plans and interests (up to three A4 pages), and vi) recommendation letters or names of two references (include their addresses, fax numbers, and e-mail addresses). The complete application package should be sent to:

Selection Committee for Professor in Water Resources Research Center,

Regional Water Environment System Research Field,

Administrative Office, Uji Campus,

Kyoto University, Gokasho, Uji, Kyoto 611-0011, Japan

Mr. Ryohhei Suzuki

Inquiries should be sent to the E-mail address below:

E-mail: ryohhei@uji.kyoto-u.ac.jp

The closing date for applications is October 15, 2008.

For more information about DPRI see <http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/>